

(S2018-19 用)

研究課題名	急性期虚血性脳卒中の再開通療法における施設間医療連携に関する調査研究 (Part 1 : Drip & Ship 法に関する調査研究、Part 2 : MT に関する調査研究)
研究期間	2018 年 12 月 5 日 ~ 2020 年 3 月 31 日 (対象は 2016 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の実施例)
研究の目的と意義	<p>急性虚血性脳卒中 (以下、AIS) に対する治療としては、rt-PA 静注療法 (以下、IV tPA) と血管内治療:機械的血栓回収療法 (以下、MT) の有効性が確立しており、この 2 つの治療法をできるだけ多くの患者さんに、できるだけ早く適用することにより、患者さんの転帰の向上と要介護者の低減を図ることが期待されています。IV tPA は 2005 年の薬事承認以来、日本脳卒中学会 (以下、JSS) が適正使用指針を定め普及を図ってきましたが、今もその治療実績に地域差があることが知られており、その詳細の把握および対策に課題が残っています。2017 年 7 月に公表された「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療連携体制の在り方に関する検討会」の報告書においては、標準治療の普及が不十分である一因として、医療資源に地域差があることが指摘されました。そのため、脳卒中の急性期診療体制の構築にあたっては、時間的制約の観点を考慮し、地域の地理的状況や医療資源を踏まえた上で、施設間連携体制の構築が必要であり、血管内治療を含むより専門的な診療が可能な施設に脳梗塞患者を搬送する Drip and Ship 法、遠隔画像診断を基に脳卒中に精通した医師の指示の下に t-PA 療法を実施し引き続き当該施設内で診療を継続する Drip and Stay 法等の活用も、医療資源を効率的に運用する手段のひとつとされています。一方、都市部では IV tPA だけを実施可能な一次脳卒中センター (以下 PSC) より MT を常時複数実施可能な医療機関、いわゆる総合 (包括的) 脳卒中センター (以下 CSC) を整備し活用することが望ましいとも言われています。本研究では、遠隔診療を用いた診断の補助や、Drip and Ship 法、Drip and Stay 法の活用を含む、地域における脳卒中急性期の施設間連携体制の現状・課題及びその解決策を明らかにすると共に、施設間連携医療の有効性や安全性に関する科学的根拠の創出が求められています。</p> <p>本研究は、</p> <p>Part 1 : Drip & Ship 法を活用した急性虚血性脳卒中に対する再開通療法の施設間連携医療の実態を明らかにする。</p> <p>Part 2 : 急性虚血性脳卒中に対する再開通療法の実態を明らかにすることを目的に実施します。</p>
研究方法	①発症または最終健常時刻から 24 時間以内に MT を施行した患者さん、②Drip & Ship 法を行った患者さん (Part 1 のみ) を対象に、患者さんの基礎データ、日常生活自立度、NIHSS、画像診断、治療内容等を登録します。研究参加施設からのデータ登録は、FAX またはインターネットを介して、研究事務局へ送付します。集積された情報を基に解析を行ないます。

<p>個人情報の保護、 研究参加の拒否に ついて</p>	<p>本調査研究に携わる関係者は被験者の個人情報保護に最大限の努力をばらいます。</p> <p>本調査研究の責任医師は、症例調査票等を当該医療機関外に提供する際には、被験者を特定できない識別コードを付しそれを用います。医療機関外の者が、被験者を特定できる情報（氏名・住所・電話番号など）は記載しません。</p> <p>事務局が医療機関へ照会する際の被験者の特定は、本調査研究責任医師またはその指定する者が管理する被験者識別コードを用いて行います。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>																								
<p>結果の公表</p>	<p>研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。（公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです）。</p>																								
<p>問合せ先</p>	<p>【研究責任者】 京都第二赤十字病院 脳神経外科 副部長 村上 守 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）</p>																								
<p>研究参加医療機関</p>	<p>主任研究者：神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井 信幸 分担研究者：</p> <table border="0"> <tr> <td>九州大学医学研究院</td> <td>飯原 弘二</td> </tr> <tr> <td>岩手医科大学医学部</td> <td>小笠原 邦昭</td> </tr> <tr> <td>国立病院機構九州医療センター</td> <td>岡田 靖</td> </tr> <tr> <td>山口大学大学院医学系研究科</td> <td>鈴木 倫保</td> </tr> <tr> <td>東北大学大学院医学系研究科</td> <td>富永 悌二</td> </tr> <tr> <td>国立研究開発法人国立循環器病研究センター</td> <td>豊田 一則</td> </tr> <tr> <td>熊本市市民病院</td> <td>橋本 洋一郎</td> </tr> <tr> <td>聖マリアンナ医科大学</td> <td>長谷川 泰弘</td> </tr> <tr> <td>筑波大学</td> <td>松丸 祐司</td> </tr> <tr> <td>京都大学大学院医学研究科</td> <td>宮本 享</td> </tr> <tr> <td>兵庫医科大学</td> <td>吉村 紳一</td> </tr> <tr> <td>その他協力施設</td> <td></td> </tr> </table>	九州大学医学研究院	飯原 弘二	岩手医科大学医学部	小笠原 邦昭	国立病院機構九州医療センター	岡田 靖	山口大学大学院医学系研究科	鈴木 倫保	東北大学大学院医学系研究科	富永 悌二	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	豊田 一則	熊本市市民病院	橋本 洋一郎	聖マリアンナ医科大学	長谷川 泰弘	筑波大学	松丸 祐司	京都大学大学院医学研究科	宮本 享	兵庫医科大学	吉村 紳一	その他協力施設	
九州大学医学研究院	飯原 弘二																								
岩手医科大学医学部	小笠原 邦昭																								
国立病院機構九州医療センター	岡田 靖																								
山口大学大学院医学系研究科	鈴木 倫保																								
東北大学大学院医学系研究科	富永 悌二																								
国立研究開発法人国立循環器病研究センター	豊田 一則																								
熊本市市民病院	橋本 洋一郎																								
聖マリアンナ医科大学	長谷川 泰弘																								
筑波大学	松丸 祐司																								
京都大学大学院医学研究科	宮本 享																								
兵庫医科大学	吉村 紳一																								
その他協力施設																									